

景気動向調査 令和6年度・第4期（令和7年1月～令和7年3月）

調査概要

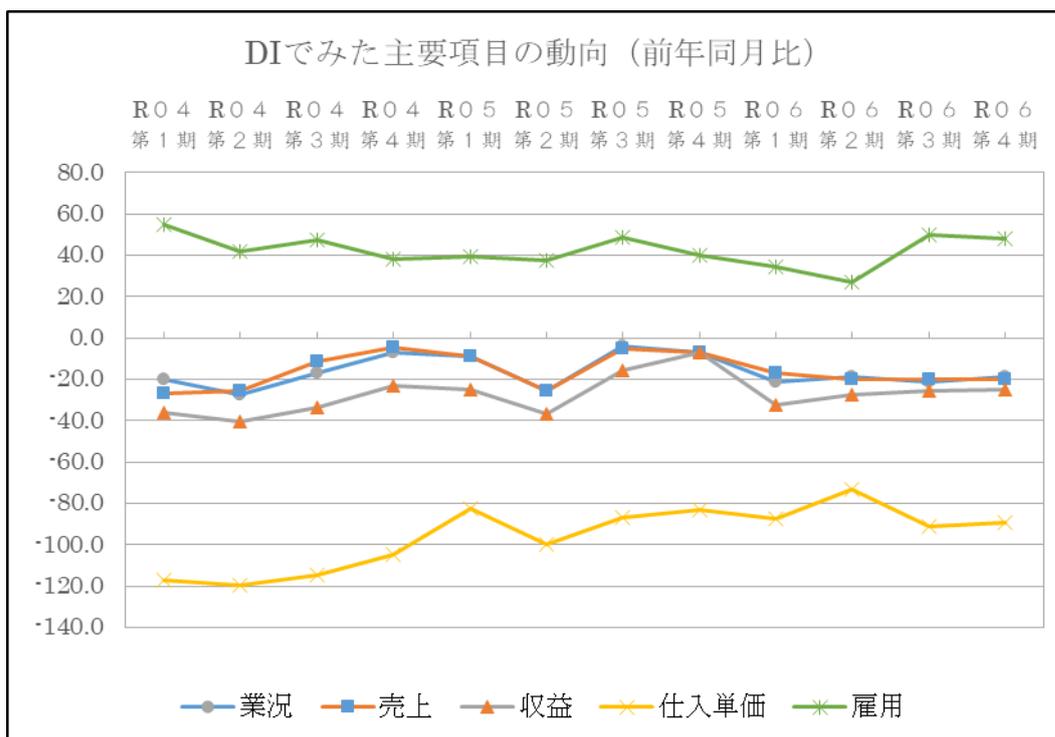
調査対象: 赤穂商工会議所管内 119社

回収: 85社 回収率: 71.4%

調査対象期間: 令和7年1月～令和7年3月(令和6年度・第4期)

DI値: 「良い+やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い+悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。

調査結果のポイント



全産業合計DI

区分	R6第3期 (R6年10月～12月)	R6第4期 (R7年1月～3月)	先行き見通し (R7年4月～6月)
業況	△21.1	△18.8	△21.2
売上	△20.0	△20.0	△24.7
収益	△25.6	△24.7	△27.1
仕入単価	△91.1	△89.4	△62.4
雇用	50.0	48.2	45.9

※雇用DIについては、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R6年3期)に比べ2.3ポイント上昇の△18.8となった。売上DIは不変で△20.0、収益DIは0.9ポイント上昇の△24.7となり、また仕入単価は1.7ポイント上昇で△89.4、雇用DIは1.8ポイント下降の48.2となった。

○先行き見通しについては、全産業合計の業況DIは今回調査結果(R6年4期)に比べ2.4

ポイント下降の△21.2 で、売上DIは 4.7 ポイント下降の△24.7、収益DIは 2.4 ポイント下降の△27.1、仕入単価DIは 27.0 ポイント上昇の△62.4、雇用DI は 2.3 ポイント下降の 45.9 となっている。

売上DI

区分	R5 第4期	R6 第1期	R6 第2期	R6 第3期	R6 第4期	先行き 見通しDI	先行き 期待感
全体	△7.3	△17.2	△20.0	△20.0	△20.0	△24.7	△4.7
建設業	△33.3	△14.3	△21.4	△50.0	△25.0	△41.7	△16.7
製造業	0.0	△8.0	△37.5	0.0	△18.2	△13.6	4.6
卸売業	20.0	△9.1	0.0	0.0	0.0	△22.2	△22.2
小売業	△36.4	△29.6	△20.8	△40.7	△34.6	△42.3	△7.7
サービス業	40.0	10.0	42.9	20.0	33.3	22.2	△11.1
不動産・ 運輸業	0.0	△66.7	△50.0	△37.5	△57.1	△28.6	28.5

○産業別の売上DIは前回調査(令和6年3期)と比較すると、建設業が△25.0(+25.0ポイント)、小売業が△34.6(+6.1ポイント)、サービス業が33.3(+13.3ポイント)で改善、卸売業が0.0ポイントで不変、製造業が△18.2(△18.2ポイント)、不動産・運輸業が△57.1(△19.6ポイント)で悪化となった。

また、全体の先行き見通しDIは今回調査結果(R6年4期)と比較し△24.7(△4.7ポイント)となっている。

経営上の問題点 (上位3項目)

区分	R5 第4期	R6 第1期	R6 第2期	R6 第3期	R6 第4期	前回調査比
売上の停滞・減少	29.3	26.9	28.2	26.7	28.2	1.5
人手不足	24.4	22.6	18.8	23.3	22.4	△0.9
原材料高	11.0	16.1	20.0	18.9	17.6	△1.3

○事業所からのコメント

卸売業：今後の見通しをするのも難しい情勢だ

運輸業：人手不足のため、給料のボトムアップで固定費増となり収益が減少。

仕入先やお客様に少しでも単価に反映していただきたい。

<参考>

有効求人倍率

区分	R7.2月	R7.1月	R6.12月
一般(常用)	0.85	1.14	1.40
パート(常用)	0.92	0.94	1.07
一般+パート(全合計)	0.88	1.05	1.24

